

# 六甲道南公園を核とした防災とにぎわいが共存するまちづくりの実現

地域名	兵庫県神戸市	「より良い復興」を実現するための重要な観点	まちづくりと一体となった防災施設の構築
-----	--------	-----------------------	---------------------

**取組みの概要**

- 六甲道駅南地区は、昭和40年に策定した「神戸市総合基本計画」において東部副都心として位置づけられ、JR六甲道駅南側に駅前広場が整備されていたが、大部分は住宅・商業・業務の混在した低利用地区であった。
- 震災では、地区の建物の8割が全・半壊するなど甚大な被害を受けたため、市街地の復興と防災公園などを中心とした防災拠点の構築、良質な住宅の供給、地域の活性化や東部副都心としてふさわしい都市機能の整備を、住民意向を取り入れた市街地再開発事業により実現した。

**① 住民意向を反映したまちづくりの推進**

- 市街地再開発事業においても、早期の復興実現と住民合意形成の両面の達成に向け、“二段階方式の都市計画”と“まちづくり協議会の組織化”と専門コンサルタントの活用により、住民意向を反映したまちづくりを推進した。

《主な経緯》

- 1995年 2月 1日 建築基準法84条 建築制限区域告示
- 1995年 3月17日 第二種市街地再開発事業の都市計画決定
- 1995年 4～ 6月 4地区別にまちづくり協議会設立
- 1995年 7月 9日 「六甲道駅南まちづくり連合協議会」設立
- 1996年 3月17日 公園・道路配置計画案の決定
- 1996年12月16日 連合協議会によるまちづくり提案の提出
- 1997年 2月28日 第二種市街地再開発事業の都市計画の変更
- 2005年 7月 9日 再開発事業完成

**② 防災モデル都市としてのまちづくり**

- 地区の中心部に六甲道南公園を防災公園として整備し、区域外にあった区役所を公園に隣接させて配置することにより、副都心としての機能の高度化をはかるとともに、災害時の防災活動拠点としての機能強化をはかった。
- 公園に耐震性貯水槽(100t)、防災器具収納スペース、仮設トイレ用下水設備を配備し、公園と接続して南北方向に広幅員の避難道路を整備した。

完成した六甲道南公園の外観

区役所と公園を核とする防災活動拠点の整備

- 避難動線
- 避難広場
- 耐震性貯水槽 (100t)
- 防災器具収納スペース (フォア下等)
- ボランティア活動拠点
- 会館 (消防団倉庫)
- 会館前活動スペース
- 仮設トイレ用下水設備5基 (マンホール)
- 区役所
- テント・受付等スペース (区役所との連携)
- 物流動線 (メイン：国道2号)

# 阪神・淡路大震災 兵庫県神戸市 六甲道駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業

## 震災直後からの変化

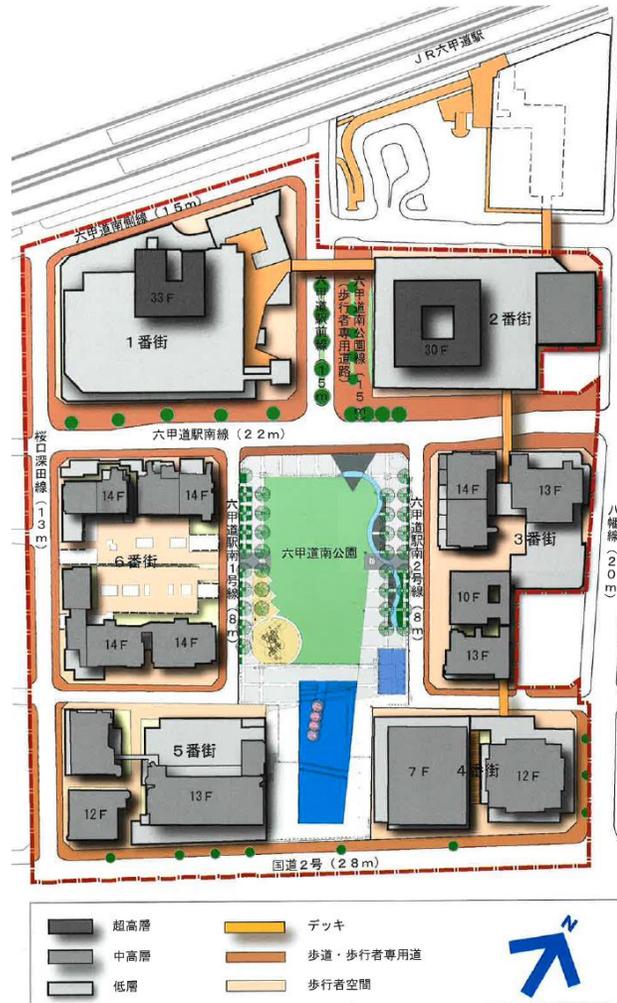
震災直後(1995年1月)



震災後(2005年5月)



## 地区の施設等の配置図



## 震災直後からのまちなみの変化

震災直後のまちなみ(備後町5丁目)



事業完成後のまちなみ(3番街)

